



TAIWAN SPEED FESTIVAL round 3 参戦報告書

予選 1位
決勝 優勝

- ゼッケン/エントリー名 : #5 / Synergy Force TRICK STAR JAPAN
- ライダー : 浜口 俊之
- 監督 : 鶴田 竜二
- 開催日 : 8月30日(土)~31日(日)
- サーキット : PENBAY INTERNATIONAL CIRCUIT / 台湾
- マシン : カワサキZX-6R
- 結果 : 8月30日(土) 予選 1位 1分47秒839
8月31日(日) 決勝 優勝

Synergy Force TRICK STAR JAPAN、前回6月に開催されたTSF第2戦で優勝できたが、台湾のライバル達が精力的にテストを繰り返しタイムアップしていると情報が入っていた。ライダー浜口選手はサーキットでマシンテストを行うことが出来ないが、モチベーションを切らすことなく日々のトレーニングに励み台湾PICサーキット入りした。

8月29日(金曜日) 練習走行

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 30℃
湿度 : 32%
路面温度 : 48℃



前回のTSF第2戦、優勝の結果を残したが、フロントサスペンションの違和感があり、その対策を施すべく練習走行をテストに費やす。走行開始直後からアベレージタイムがアップしている。しかしフロントの違和感は解決しておらず、走行→セッティングを繰り返し探っていく。12:00からの走行時間帯では路面温度が65℃を超えており、リアタイヤのグリップ感が失われていく。翌日の予選は14:30から行われるので、その時間帯は更に路面温度が高い可能性もあり、それを見越してのセッティングを施し走行を行なった。



8月30日(土)

公式練習 10:00~10:30

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 35°C
湿度 : 22%
路面温度 : 55.8°C

フロントサスペンションの違和感を抑えるべくセッティングを施し走行した。フロントの安心感は増したが旋回性が失われマシンの向きが変わり辛く、更にフロントから切れ込む感じがするとコメント。浜口選手のコメントから予選に向けたセッティングを施すと共に、30分の予選時間を有効に使える様にシミュレーションする。

公式予選 14:30~15:00

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 31°C
湿度 : 51%
路面温度 : 51°C

予選開始30分前に急に雲が拡がり、いつ降り出してもおかしく無い状況になる。路面温度も51°Cまで下がる。雨が降る可能性を見越して、予選スタートをトップでコースインしタイムアタックに入る。路面温度低下とマシンセッティングを振っているの徐々にタイムアップさせて行く。3・4・5周目と48秒台を記録し、6周目に47秒台に。7周目も47秒台を記録しピットインする。浜口選手からのコメントを確認し、セッティングを少しアジャストし予選残り時間も有効に活用する。予選結果ポールポジション 1分47秒839





8月31日(日)

フリー走行 9:25~9:40

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 30℃
湿度 : 33%
路面温度 : 55.1℃

決勝日も朝から日差しが強く既に路面温度も55℃を超えてきた。昨日の浜口選手のコメントから鶴田監督の経験とアドバイスから決勝を見据えたセッティングを試した。フロントの違和感はコーナークリップ付近で残っているが、コーナー進入スピードを上げることが出来、予選ポールポジションタイムを上回る1分47秒7を記録する。

決勝 13:30~ 18Lap

天候 : 晴れ
路面 : ドライ
気温 : 31℃
湿度 : 37%
路面温度 : 66℃

レースウィークで一番路面温度が高い66℃の中、全車グリッドに着き、スタート。

ホールショットで1コーナーに進入するが1周目終了時点で2位に。
2周目終了時点、2位でコントロールラインを通過。
最終コーナーで前車を抜き3周終了時点でトップに。
4周終了時点2位と+0.2秒。
5周終了時点2位と+0.3秒。
6周終了時点2位と+0.8秒。
7周終了時点2位と+1.5秒。後続を引き離す。
10周終了時点2位と+3.6秒
その後、每周後続を0.8秒から1秒以上引き離し、2番手の選手に15.415秒の大差をつけ、18週のレースをトップでゴール。
レース後半、後続を大きく引き離したが、最終ラップまでタイムを落とすことなくゴールする。





【ライダー 浜口俊之 コメント】

台湾TSF第3戦、優勝できました。これも各スポンサー様、チームスタッフ、応援してくださった皆様のおかげだと思っています。ありがとうございます。

6月に開催されたTSF第2戦、それ以降今回のレースウィークまでテストすることが出来なかったですが、毎日トレーニングに励んでサーキット入りしました。今回のレースウィークはとても暑く、路面温度も60℃を超える日が続き、タイヤのグリップ感が失われてました。決勝レースもタイヤグリップが無くなっていき何度も転びそうになりましたが、最終ラップまで集中力を維持しラップタイムを落とすことなくゴールできました。次回10月のTSF第4戦最終戦も優勝できるように頑張ってます。これからも応援、宜しくお願いします。

【監督 鶴田竜二 コメント】

台湾選手権TSF第3戦をチームシナジーフォース TRICK STAR JAPAN 浜口選手が優勝することができました。これもいつも私達を支えて頂いているスポンサー様、レース関係の皆様、ファンの皆様のお陰です。感謝しております。ありがとうございました！

大好きな台湾でレースが出来るだけでもラッキーなのですが、この様な形で皆様のご協力の下で素晴らしい結果が得られた事は本当に嬉しく思っております。

残すは10月18・19日開催の1戦となりましたが、次回も全力で頑張ってます。我々の活動が台湾と日本の友好ならびにモータースポーツの発展に繋がればと思っております。

